

# ゼオライトや堆肥による 大豆の放射性セシウムの吸収抑制効果

福島県農業総合センター 作物園芸部・畑作科

事業名 放射性物質除去・低減技術開発事業

小事業名 カリウム等による吸収抑制技術の開発

研究課題名 畑作物のカリウム等による吸収抑制技術の開発

担当者 竹内恵

## I 新技術の解説

### 1 要旨

土壌改良資材であるゼオライトや堆肥を用いて、大豆子実の放射性セシウムの吸収抑制効果を検討した結果、両者とも効果が認められた。

- (1)ゼオライトは無施用、5t、10t、堆肥は無施用、2t、3tの区を設置した(表1)。
- (2)ゼオライトを5t、10t施用した場合の大豆子実の放射性セシウム濃度は、無施用に比べ有意に低かった(図1)。
- (3)堆肥を3t施用した場合の大豆子実の放射性セシウム濃度は、無施用に比べ有意に低かった(図2)。
- (4)堆肥やゼオライト、カリ肥料を施用した場合の大豆子実の放射性セシウムの吸収量は土壌の交換性カリ含量が高いほど低下した(図3)。
- (5)ゼオライトの効果は、硫酸カリを使用した場合より、同量の交換性カリであっても子実の放射性セシウム濃度の吸収抑制効果が低い傾向が見られた(図3)。

### 2 期待される効果

- (1) 大豆の放射性セシウムの吸収抑制対策としての活用が期待できる。
- (2) 大豆に対する堆肥の利用促進が期待できる。

### 3 活用上の留意点

- (1) 今回試験を行った土壌は灰色低地土である。

